

基 調 講 演

Seeing is believing -百聞不如一見-

木ノ本 喜史

大阪大学大学院歯学部臨床教授
医療法人豊永会きのもと歯科

わが国において歯科用顕微鏡歯科は健康保険にも記載されるようになり、近年ますます一般臨床に受け入れられている。1990年代の導入当初の懐疑的な評価からすれば隔世の感がある。

演者が大学に所属しているときは保存系の教室であったため、診療においては保存系の処置にのみ顕微鏡を使用していた。しかし、開業後はGPとして診療しており、保存系以外の補綴や歯周、外科においても使用しており重宝している。しかし、自分の専門以外の分野での顕微鏡の使い方は手探りで、基本的な顕微鏡の操作を会得していても難しいものがあった。

そこで、今大会のシンポジウムのテーマを、「一般診療へのマイクロデンティストリーの活用」として、さまざまな処置に顕微鏡を使用している先輩に理論やコツを披露してもらい、さらなる顕微鏡歯科の普及を目指した。目標は、10年後に現在のルーペの使用と同じくらい顕微鏡歯科が当然だね、と言われる時代が来ることである。

最後に、昨年ザ・クインテッセンス12月号に今大会を広報する目的も兼ねて、顕微鏡歯科に関する論文を投稿した。その時の症例の後日談は顕微鏡歯科の今後の可能性を広げると考えているので今回披露したい。

11年振りに大阪で開催される顕微鏡歯科学会を有意義に過ごしていただき、今後の顕微鏡歯科の発展に役立てていただければ、大会を準備させていただいた側として最高の喜びです。

3日間どうぞよろしくお願い致します。

略歴

- 1987年 大阪大学歯学部卒業
- 1992年 大阪大学大学院歯学研究科修了 博士（歯学）
- 1997年 米国テキサス大学サンアントニオ校歯学部客員研究員
- 2003年 大阪大学歯学部附属病院講師
- 2005年 大阪府吹田市にて開業
- 2009年 大阪大学歯学部臨床教授
- 2016年 広島大学歯学部非常勤講師

学会等活動

日本歯内療法学会（理事，総務委員会委員長，専門医），西日本歯内療法学会（会長），日本歯科保存学会（評議員，専門医指導医），日本顕微鏡歯科学会（理事，指導医），日本歯科医師会生涯研修セミナー講師（2013, 2014年）